

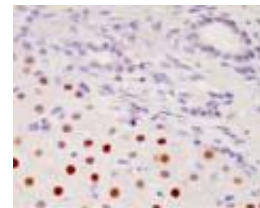
Anti human HNF4 α mouse monoclonal antibody

HNF4 α : Hepatocyte Nuclear Factor 4 alpha

製品コード	PP-K9218-00 旧コード Z2K9218H
Clone No.	K9218
Lot.	A-3
濃度	1mg/mL
容量	100 μ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR2A1
Genebank	X87870
由来	ヒトHNF4 α (3-49 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト HNF4 α 1-6 と特異的に反応する。マウスおよびラットのHNF4 α 1-6と交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水(防腐剤として0.1% Na ₃ 添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 1 μ g/mL
非還元 Western Blot	未検討 参考使用濃度 -
ELISA	可 参考使用濃度 0.1 μ g/mL
免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
Supershift Assay	可 参考使用濃度 適宜調製してください
クロマチン免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
免疫染色	可 参考使用濃度 10-20 μ g/mL



ヒト
肝臓
パラフィン切片



ラット
腸
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Jiang S, *et al.* Nuclear Receptor, 1: 5, 2003.
Kamiya A, *et al.* FEBS Lett. 3; 578(1-2): 63-8, 2004.
Tanaka T, *et al.* J. Pathol. 208, 662-672, 2006
Kojima K, *et al.* Pathology, 38(6), 548-554, 2006
Oshima T, *et al.* Pathology International, 57: 82-90, 2007

備考 溶媒に含まれるNa₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Feb 25, 2008